

名古屋市教育委員会定例会

平成 23 年 9 月 2 日
午前 10 時 00 分
教育委員会室

議 案

- 第 67 号議案 名古屋市体育指導委員規則の一部を改正する規則案
第 68 号議案 名古屋市図書館館則の一部を改正する規則案
第 69 号議案 平成 24 年度名古屋市立幼稚園園児募集要項について
第 70 号議案 名古屋市スポーツ振興審議会条例及び名古屋市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
第 71 号議案 内部評価の実施結果（教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価 平成 22 年度版）について

出席者

坂 井 克 彦 委員長
三 林 久 美 委 員
永 井 幸 代 委 員
古 川 隆 委 員
野 田 敦 敬 委 員
伊 藤 彰 教育長

教育次長始め、事務局職員 28 名

(坂井委員長)

ただ今から、教育委員会定例会を開催いたします。

最初にお諮りいたします。

第 70 号議案及び第 71 号議案は、名古屋市教育委員会会議規則第 6 条の規定に基づき、非公開にて審議したいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(坂井委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

それでは、第 67 号議案「名古屋市体育指導委員規則の一部を改正する規則案」について議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(太田総務課長)

第67号議案「名古屋市体育指導委員規則の一部改正について」をご説明いたします。改正内容は、スポーツ振興法の全部改正により、スポーツ基本法が平成23年8月24日に施行され、地域におけるスポーツの指導・助言等を行う「体育指導委員」が「スポーツ推進委員」に名称が改められたことに伴い、規定の整理を行うものでございます。

なお、施行期日は、公布の日からでございます。

よろしくご審議をお願いします。

(坂井委員長)

ありがとうございました。

法律が変わりまして、「体育指導委員」を「スポーツ推進委員」に名称を変更することです。ご意見、ご質問等はございませんか。

特にご意見もないようですので、第67号議案につきましては、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(坂井委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

続きまして、第68号議案「名古屋市図書館館則の一部を改正する規則案」について議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(太田総務課長)

次に、第68号議案「名古屋市図書館館則の一部改正について」をご説明いたします。改正内容は、利用者サービスの向上を図るため、鶴舞中央図書館の開館時間について、これまで午前10時からであったものを、30分早めて午前9時30分からとし、これに伴い、駐車場の使用時間についても、午前9時45分から30分早め、午前9時15分からとするものでございます。

なお、施行期日は、読書週間(10月27日から11月9日まで)に合わせ、平成23年10月27日からでございます。

よろしくご審議をお願いします。

(坂井委員長)

ありがとうございました。説明が終わりました。何かご質問、ご意見等ございますか。

改める主な理由は何ですか。

(渡辺鶴舞中央図書館副館長)

5月30日の所管事務調査において、市民サービスをすすめるようご指摘をいただ

いておりまして、開館時間 30 分を早めるものです。

(坂井委員長)

関係する職員の方たちの労働がきつくなる、というようなことはないのですか。

(渡辺鶴舞中央図書館副館長)

職員の勤務時間は 8 時 45 分からとなっていますので、現行の勤務時間の範囲で、仕事の割り振りを変更することで対応可能です。

(古川委員)

市民の方にはずいぶん喜んでいただけたと思います。同様に土日も 5 時閉館ではなく、将来で結構なので、もう少し延長できないか、ということも検討していただきたいです。要望事項です。ぜひお願いしたいです。

(渡辺鶴舞中央図書館副館長)

委員ご指摘のとおりでございまして、10 月から市民の声をアンケートしまして、どの時間帯に利用したいかなど、そういった要望を取りまとめて検討したいと考えております。

(坂井委員長)

他にご意見もないようですので、第 68 号議案につきましては、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(坂井委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

続きまして、第 69 号議案「平成 24 年度名古屋市立幼稚園園児募集要項について」を議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(森教職員課長)

第 69 号議案「平成 24 年度名古屋市立幼稚園園児募集要項」につきましてご説明申し上げます。

「概要」を参考として綴じ込んでありますので、ご覧ください。

まず、「1 定員及び募集人員等」でございますが、3 歳児につきましては、合計募集人員が昨年比 45 人増の 610 人となっております。これは、守山区の二城幼稚園・緑区の桶狭間幼稚園の 2 園において、1 学級 25 人の募集から、2 学級 40 人募集とするとともに、千種区の第二幼稚園・東区の大幸幼稚園・緑区の鳴子幼稚園の 3 園において、各 5 人増の 1 学級 25 人募集としております。これは、当該園のここ数年の募集倍率が、2 倍を超えるかそれに近い状況が続いていることや、1 年待って入園

する待機幼児の数が多いことなどを鑑みて募集増を行うものです。

一方、4歳児につきましては、合計募集人員が昨年比75人減の625人としております。これは、名東区の猪高幼稚園・緑区の大高幼稚園の2園で各35人減としております。この2園では、応募者が少ないことにより、実際の学級数を減ずる状況がここ数年続いており、今回の募集で各1学級減といたしました。

なお、二城幼稚園では3歳からの進級者が25人あるため、4歳での募集を5人減としております。

つぎに、「2日程」でございますが、応募期間は10月11日(火)から10月14日(金)までの4日間とし、入園選考は10月18日(火)、19日(水)に実施いたします。この日程につきましては、昨年とほぼ同様でございます。

なお、募集人員を超える応募者があった場合は、10月24日(月)に公開抽選で入園予定者を決定いたします。

以上、平成24年度幼稚園園児募集要項につきまして、ご説明申し上げました。よろしく、ご審議のほどお願い申し上げます。

(坂井委員長)

ありがとうございました。来年度の名古屋市立幼稚園の園児募集要項についてです。何かご質問はございますか。

これはトータルとしては何倍くらいの倍率になるのですか。

(森教職員課長)

昨年度の例ですと、3歳児については1.3倍、4歳児については0.36倍という倍率でございます。

(坂井委員長)

3歳時ではみ出た方はどうされるのですか。

(森教職員課長)

抽選でもれた方については、1年待って入園される方もいらっしゃいますし、私立に行かれる方もいらっしゃいます。

(坂井委員長)

1年待って、というのは、4歳児の募集に応募するということですか。

(森教職員課長)

そうでございます。3歳児で残念ながら入れなくて、やっぱり名古屋市立幼稚園に入りたい、魅力がある、とお考えになっている方は1年待って4歳児で入園という方もいらっしゃいます。

(坂井委員長)

0.36倍というのは、えらく低いように思いますが。

(森教職員課長)

もともと2年保育が主流で市立幼稚園は始めておりますが、実際3歳からの保育を希望する方が多いという状況で3歳児の倍率が高くなっています。実際、3歳児からの入園でほかの私立幼稚園に入る方が多いということで、4歳児の倍率が低くなっているという傾向です。

(坂井委員長)

倍率が少ないから定員を減らす、ということにはならないのですか。

(森教職員課長)

そういうことで今後は3歳児を増やして4歳児を減らす、という流れです。現在は25、70、70という定員で、アンバランスな状況ですので、それをなるべくならしていこう、と考えています。

(三林委員)

二城幼稚園のように3歳児の募集を増やして4歳児の募集を減らせばいい、という単純な問題ではないんですよね。3歳児を受け入れる体制と、4歳児を受け入れる体制は違いがあるんですよね。

(森教職員課長)

そもそも定員としては、3歳児は20人または25人、4歳児5歳児は35人を基本としています。従いまして、小さい子どもさんの方がより細かい指導が必要だ、ということでそのように定められていますが、3歳児を4歳児と同じ数増やすと教員数が必要となってまいります。教員数については全体の削減もあり、なかなか増やすことは難しいです。それらのことを勘案しながら、減らした分を学級増につなげるということで、今回は猪高と大高を減らし、逆に3歳児を増やす、としました。順次このような方向で持っていきたいと考えています。

(野田委員)

3歳児が25人で2クラスだと50人ですね。4歳児だと35人なので2クラスだと70人になり20人空きがでる、ということですね。そこに応募をされる方は少ないので、倍率が下がるのですね。ただ、市立幼稚園のよさを感じている方がそこそこあって、保育園、公立幼稚園、私立幼稚園、という幅広い選択肢の中で、こういう状況なんですね。

(坂井委員長)

率直に言って、0.36というのは低いですよね。今後は是正をできるかぎりしていくのですか。

(森教職員課長)

おっしゃる通りで、そのように考えています。閉園ということもこれまで進めてきています。いわゆる小学校との併設園で在籍率の低い幼稚園を、平成19年に内山幼稚園、平成20年に杉村、浦里、平成21年に比良、平成22年に平田、と順次廃園してきているところです。残っているところは荒子と常磐が併設園として残っていますが、在籍率が比較的高いので、直ちに廃園という計画にはなっていません。

(坂井委員長)

他にご意見もないようですので、第69号議案につきましては、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(坂井委員長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(森教職員課長)

なお、この件につきましては、9月5日に記者クラブに発表いたしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

第70号議案及び第71号議案まで非公開にて審議されたため、名古屋市教育委員会会議規則第12条の規定により、会議録は別途作成。

午前11時28分閉会